

空港内で「超小型 EV コムス」の試験運用を開始 ～地球環境にも航空イノベーションを～

Peach Aviation 株式会社（以下：Peach、代表取締役 CEO：井上 慎一）は、本日、関西空港内でトヨタ車体株式会社（以下：トヨタ車体、代表取締役社長：増井 敬二）の「超小型 EV コムス」（以下：コムス）を活用した、デモ試験運用を開始しました。

「コムス」は、機動性や経済性が高く、簡単な荷物をも運ぶことができる新しいモビリティとして個人・法人のお客様をはじめ、地方公共団体でカーシェアリングなどの実証実験車両として用いられているなど、いま注目を浴びている車両です。

なお、空港施設内で超小型電気自動車の試験運用を行うのは、日本で初めての試みです。

2台の「コムス」のデモ試験運用（実証実験）期間は本日から約3ヶ月で、クリーンエリアを含む関西空港内で実施し、航空機の運航支援に伴う付帯品の搬送および人員の移動などに使用します。

Peach では、これからも航空業界にイノベーションを起こし、人々のライフスタイルをより豊かにしてまいります。



コムス B・COM(左)、P・COM(右)

【概要】

車両:	コムス(トヨタ車体)
台数:	コムス P・COM、B・COM 各 1 台の合計 2 台
実証実験期間:	2016 年 6 月 30 日まで
寸法(P・COM):	全長 2,395mm、全幅 1,095mm、全高 1,500mm
(B・COM):	全長 2,475mm、全幅 1,105mm、全高 1,500mm
最高速度:	60km/h
走行エリア:	関西国際空港内(制限区域内を含む)
充電時間:	約 6 時間で満充電(AC100V)
乗車人数:	1 名

超小型EVについて

国土交通省が定めた「超小型モビリティ」の定義では、自動車よりコンパクトで、地域の手軽な足となる 1~2 乗り程度の車両で、エネルギー消費量は、通常の自動車に比べ 1/6 程度のものをさします。超小型 EV も超小型モビリティの一種です。

コムスについて

コムスは、トヨタ車体が開発した超小型 EV です。コムス P・COM、B・COM の 2 タイプ(4 種類)を展開しています。家庭用 100V コンセントで充電可能で、一回の充電でかかる電気代は約 151 円(電気料金単価 29.1 円/Kwh)と経済的で、100% 電気自動車のため、走行時の CO2 排出ゼロの環境にやさしいエコでクリーンな車です。

Peach について(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西国際空港を拠点として運航を開始しました。2014年7月には那覇空港を関西国際空港に次ぐ拠点空港とし、また、2015年8月には羽田空港に就航しました。現在、1日あたりの搭乗旅客数は13,000人を超え、路線数は国内線14路線、国際線10路線の全24路線を展開し、2017年度には、仙台空港に拠点を開設します。